全国一般愛知地本

＝発　行＝
全労連・全国一般労働組合愛知地方本部 ＝ 煤本國治
住所：名古屋市熱田区沢下町9−3
労働会館本館405

第96回愛知県中央メーデー！

５月１日全世界でメーデーが開催され、愛知でも白川公園及び県下６地域の会場で２千人の参加があり、愛労連西尾議長の挨拶では「人間らしく生き、安心して暮らせる社会を作ろう」と呼びかけに共感と共に実践していく決意をした次第です。

政党からの参加者は紹介にとどめ「若者気候訴訟原告」宮沢カトリンさんや「地域手当違憲訴訟」の元裁判官の竹内浩史さんからの訴え、各単産や地域から12名の１分間リレートークで「時短・大幅賃上げ・権利向上・平和・ジェンダー平等」などの要求が訴えられ、シンプルでなかなか良かったし、堅苦しいメーデーとはならず良い企画だったと感じました。

ただ参加者が白川公園には例年より少なく、平日の開催だったこと、組合員の減少などが要因として挙げられるのかなと思いますが、一方で全国一般からは21名の組合員が白川公園の中央会場に参加をし、元気よく栄までデモ行進をおこないました。参加者の皆さんご苦労様でした。

（記　執行部）

■ 今後の予定 ■

5月28日(水)全労連主催・争議支援東京総行動
6月14日(土)愛労連評議委員会
6月27日(金)地本執行委員会⑩
6月28日(土)愛知共催会総会
7月17日(木)地本執行委員会⑪
7月18日(金)アクリル争議都労委結審
7月21日(月)愛労第72回連大会

地本共済会「いちご狩り」を開催しました

４月２６日（土）毎年恒例の「いちご狩り」を開催しました。参加者は大人子供含め１５名の参加で、半田市の沢田農園にて行い制限時間４５分の中で“もう食えん”というところまで食べてきましたが、２０分ほどで飽きてしまい時間を余す状態となってしまいました。こども達には楽しんでもらえたのかなと思っています。今後の企画を考えるうえで、多くの組合員や組織拡大を念頭に入れた取り組みを検討する必要性を感じています。

（S）

雇用共同アクション

許すな！労基法解体 学習シリーズ

厚労省所管の労働基準関係法制研究会（労基研）は今年1月報告書を公表。その内容は、財界の主張とそっくり。労使の合意等さえあれば労基法の基準を下回る働かせ方も合法となる仕組みをつくるためのものでした。これは働くルールの最低基準を決めている労働基準法の骨抜き・解体となるもので、危険です。雇用共同アクションでは政府・財界の狙いをシリーズで学習し、解体ストップをめざし取り組みを進めます。ぜひ、ご参加ください。

【参加登録】

学習会はオンライン（ZOOM）で開催します。**事前登録制ですので各学習会ごとに登録お願いします。**

第1弾と第2弾は下記のそれぞれのURLから登録を。登録された方にメールでZOOMのURLを送ります。

※当日、ZOOMに入る時に組織名と氏名を記載して入室してください。

【資料】

https://x.gd/iscak からダウンロードしてください。（資料のURLは学習会シリーズ共通）

第１弾

5月29日(木)18時30分

～20時30分

労基研報告のポイントと今後の動き

「政府が狙う労基法の将来とは

～労基研報告から見る～ 」

講師 本久 洋一氏

（國學院大學法学部教授・労働法研究者）

参加登録は下記からできます

https://x.gd/yxweg

第２弾

6月27日(金)18時30分

～20時30分

労政審労働条件分科会の動きから財界の狙いを暴く

「今、労政審で何が議論されているのか

～使用者代表の発言から～」

講師 土井 直樹氏

（雇用共同アクション 事務局長）

参加登録は下記からできます

https://x.gd/7HoEq

雇用共同アクション　構成団体：日本マスコミ文化情報労組会議（MIC）、全国港湾労働組合連合会、航空労組連絡会、純中立労働組合懇談会、中小労組政策ネットワーク、コミュニティ・ユニオン首都圏ネットワーク、東京争議団共闘会議、けんり総行動実行委員会、全国労働組合総連合、全国労働組合連絡協議会

問い合わせ 全労連：土井 TEL 03-5842-5611